

ひとりだち

きこえとことばの
支援センターだより
R7 年 9月号



みみの助

れいわ ねんど ちいきしゅわこうざ おこな 令和7年度 地域手話講座を行いました！

7月24日(木)に富加町タウンホールとみか、29日(火)に岐阜聾学校、31日(木)に八百津町ファミリーセンターで、愛知学院大学非常勤講師 平井 知加子先生を講師に招き、地域手話講座を実施しました。8月1日(金)には坂祝町子育て拠点施設バンビーニにて岐阜聾学校職員による講座を実施しました。多くの方の参加申込があり、また、「すでに手話を覚えているがもっと覚えたい」という思いで参加された方もおられ、地域の方々に手話や聴覚障がいへの関心がさらに広がりつつあることをとても嬉しく感じました。

さんか こ かんそう 参加した子どもたちの感想

- 手話は手だけではなく、表情でも伝えるということを知りました。
- 先生から手話だけでなく、接し方も学びました。このようなイベントをもっと開いてほしいです。
- 手話は、耳が聞こえない人と通じ合う大切なものだと思います。
- 手話を通して話せたことが楽しかったし、もっとどういう手話があるのか知りたいです。
- お母さんが耳が聞こえないけれど、新しい手話を知れてよかったと思います。
- 耳が聞こえない人と話す楽しさが分かって「参加してよかった」と思いました。
- 手話を使わなくても体やジェスチャーで通じ合えるということが分かりました。

さんか ほごしゃ おとな かた かんそう 参加した保護者など大人の方の感想

- 難しいなと思うところもありましたが、手話表現より伝える気持ちの大切さが勉強になりました。
- 手話は難しいと思いがちでしたが、心で表現、顔で表現!!が大切と分かりました。接客業をしていますが、心を込めて頭を柔らかく伝えていきたいと思っています。
- 心がとてもやさしくなれました。
- 大切なことは手話を覚えるということではなく、相手に伝えたい思いや相手を思う気持ちなのだと思います。それを子どもたちが感じられてよかったです。
- 手話を日本中の皆ができて、日本と世界の人々が気軽に会話ができる社会になるといいです。まずは、自分から学んだことを自信をもって伝えられるようにしたいです。

※感想は原文のままです

こうざ ようす 講座の様子





*ナショナル補聴器センター 10月 1日、15日 (毎月第1・3水曜日)

*理研産業 10月 8日 (毎月第2水曜日)

場所：本館1階 補聴相談室

時間：13時30分～相談が終わり次第終了

*イヤモールド作成、補聴器の不具合等の相談は、業者来校日の前に、担任を通じて補聴相談係への連絡後、申込用紙の提出が必要です。

